

選挙区も比例も一票争う大激戦

得票目標突破へ全党燃ゆの総行動を

電話のフル回転、選挙はがき先へ「おりいって」作戦を

自衛隊員の奥さんが

「ハガキありがとう」と

支部のSさんは、職場の仲間に自分の名前を書いて初めて選挙ハガキをだしました。みんな「ハガキ届いたよ」と2人きりになると、話してくれます。その中で夫が自衛隊員の方か、「ハガキありがとう。背中押してくれてありがとう。選挙に行きます」と話してくれました。秋田県

声かけ隊20名がフル稼働

盛岡では連日、20名の声掛け隊が対話。会員との対話がほぼ終わり、タウンページや退会者名簿の活用に入りました。来週には業者後援会の決起集会を開いて最終盤の意思統一を行ないます。対話では「孫がはじめて選挙をします。必ずきこくちさんを頼んどくよ、アベさんは、何を考えているんだろう。国民のことでないよね」「単価の安い仕事しかない。困っているよ」の声が寄せられています。上閉伊では「ニュースが気になる。年金から5兆円もふっとんだと言っていた。これでは年金をもらえないことになるのでは。心配だ」との声が。また「娘の夫が自衛隊で青森にいます。海外派兵されな

いかと、びくびくしている巨胆江）、「息子が自衛隊にいます。あの安保法制ができてから眠られませんか」（北上）など対話が。岩手県

「何をやればいいのか」党員から連絡

これまでやっていなかった人から「何をやればいいのか」と連絡が来たので電話かけを今日からやってみようことにした。「電話は苦手」という人が、今日から電話かけを始めた。「市田副委員長が『やれることは全部やろう。やれないこともやろう』と言ったが、やれなかったこともやる決意がみんなのものになった」福島相馬地区

女子高生が「憲法変えるのダメ」

「能代市内」の動物病院で女子高校生たちが、「共産党に入れるべしや。憲法変えられれば、自分達のような若い人が戦争に行かなければならなくなる。絶対反対しなければ。それは共産党だよ。他校の親友にも広げよう」と話していました。秋田県

自民党なくす会つくれ

元保守系町議（現JA秋田やまもと農協理事）が「選挙頑張ってるがあ。俺はあだがたさ入れるど。農協つぶす自民党はもうダメだ。俺は農協の理事会で「自民党を無くす会」を作れと言っている」と話しかけてきたそうです。カリガリの自民党だと思っていたので「びっくりした」。秋田県

いわぶち友候補盛岡で訴え



3日、盛岡市。雨が降ったりやんだり。雨にも関わらず、どこでもみなさんが待っていてくれます。「入れてきたよ」「あと一週間。がんばろう！」あたたかい言葉が嬉しい！

高橋ちづ子議員秋田を駆ける

3日、湯沢。湯沢市商店街。湯沢市は菅官房長官の出身地。バングラデシュの日本人人質問題について、選挙遊説を優先させたのは「全く問題ない」と述べたようですが？「人質の死亡を悼み、テロは絶対許せません。でも安保法制がその解決策ではありません。」



比例代表は「日本共産党へ」

選挙区は「野党統一候補へ」

党員は「いわぶち友」と書いて投票するよう徹底しよう。広げに広げよう。

参院選勝利
東北ブロックニュース

2016
7/3
33号
部内資料

日本共産党国会議員団東北ブロック事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央4丁目3-2 8朝市ビル4階
電話 022-223-7572 FAX 022-264-2596
E-mail tobblock@rose.ocn.ne.jp